

●学校法人 d b Version 3.103

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

## 1) 登録・入力

### ①仕訳入力

- ・ 枝番選択画面で名称の 50 音順の表示に対応しました。
- ・ [F4 入力設定] に “**枝番選択を 50 音順で表示**” を追加しました。

枝番	
<input checked="" type="checkbox"/>	枝番未入力チェック
<input checked="" type="checkbox"/>	枝番名称を表示
<input checked="" type="checkbox"/>	枝番のコピー
<input type="checkbox"/>	枝番摘要を仕訳摘要にセット
<input type="checkbox"/>	資金繰諸口枝番名称を表示
<input checked="" type="checkbox"/>	枝番選択を50音順で表示

枝番残高登録のフリガナの 50 音順で表示します。フリガナが空白の場合は先頭になります。

- ・ 摘要に消費税区分を付けた場合、仕訳入力時にその摘要の前に文字を入力した場合に、次の仕訳で ENTER で摘要複写しても、消費税区分を複写していなかったのを修正しました。

#### [検索項目]

- ・ 非営利系マスターで原則課税の場合、税区分で「不課税」を選択しなくても、特定収入区分を選択可能にしました。
- ・ 取消仕訳 (F9) で検索した場合に、検索条件が入力されていれば、該当する取消仕訳のみを表示するようにしました。

検索条件を入れて仕訳検索 (F8) 後に、全ての取消仕訳を検索する場合は、全項目消去 (F11) で全検索項目を削除してから行うようにしてください。

#### [検索]

- ・ 一括修正で、日付などを修正すると、新しく追加した特定収入区分「特定収入 (8%)」が「不特定収入 (8%)」に変更されていたのを修正しました。

#### [伝票入力]

- ・ F7 定型伝票で、送信済仕訳等の確定仕訳状態の伝票を定型伝票として登録した場合、その定型伝票から新しく転記した仕訳が確定仕訳の状態になっていたのを修正しました。
- 既に登録済みの定型伝票内の確定仕訳サインもクリアします。

### ②元帳検索

- ・ 残高問い合わせで、既定以外の税処理区分に切替後、元帳検索に移行して貸借修正で金額・税区分を変更した時にフリーズするケースがあったのを修正しました。(Windows7)

### ③収支集計・純額対応科目登録

- ・ 収支集計対応科目メンテ
- Excel 出力で、科目コードの出力位置が詰まるケースがあったのを修正しました。

## 2) 決算

### ①決算書

- ・ 旧会計基準マスターで、貸借対照表「消費収支差額の部」の翌年度繰越消費収入超過額と翌年度繰越消費支出超過額の増減の金額を修正しました。
- 前期が収入超過、当期が支出超過のような場合に正しく計算されていませんでした。

以上